

# 前期学校評価アンケート結果

令和3年度  
京都市立京都京北小中学校  
校長 松本 和文

錦秋の候、平素は本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。さて、本校教育活動をより充実するために、今年度1回目の学校評価アンケートを実施しましたのでお知らせいたします。お忙しい中、保護者の皆様には、ご協力いただき誠にありがとうございました。アンケートにつきましては、集計し、分析を行いました。その中の一部をまとめましたのでご覧ください。今回、紙面に載せていないものについても、今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

## ○学校教育目標

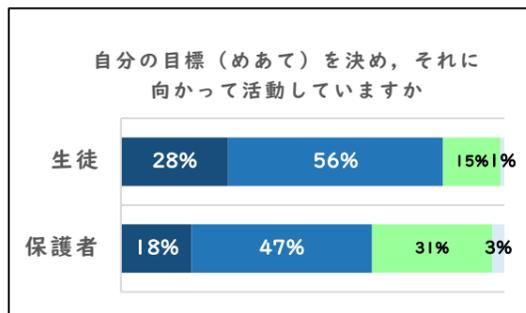
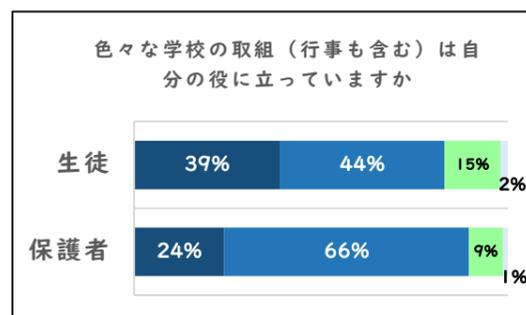
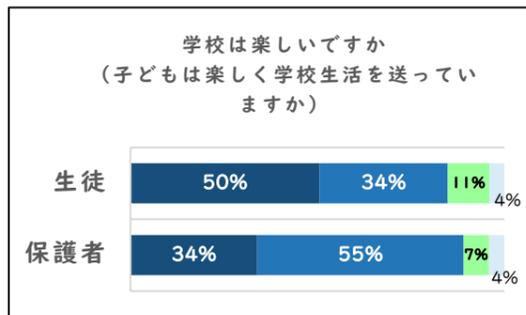
ふるさとの伝統と文化を受け継ぎ、誇りに思い、  
自らの志を高め、未来に向けて大いに学び育つ子どもの育成  
～言語能力と地域創生力を伸ばす～

## ○めざす生徒像

知：9年間の連続した学びに支えられた確かな知識を活用し、探究心を持って問題解決に向けて主体的に取り組む事が出来る生徒。  
心：ふるさと京北を愛し、豊かな人間性・市民性・自尊感情を有し、周りの人との関係やコミュニケーションを大切に出来る生徒。  
体：自らの心身の健康を育む意欲を持ち、安全や体力の向上に対し、生涯に渡ってそれを実践することが出来る生徒。

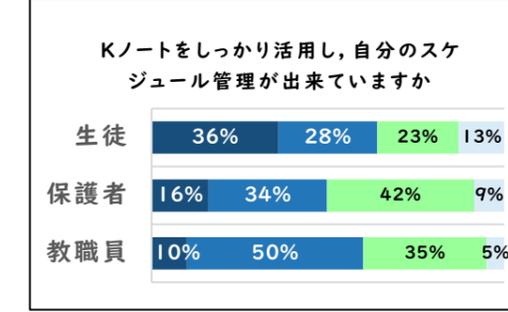
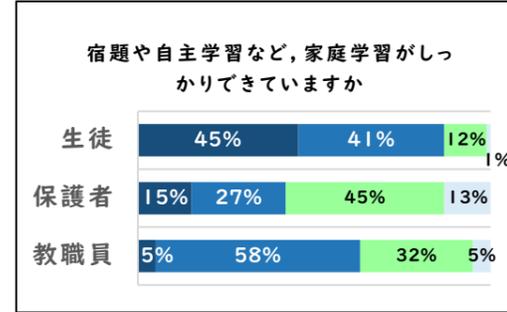
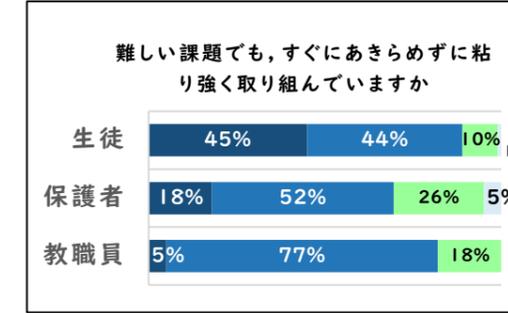
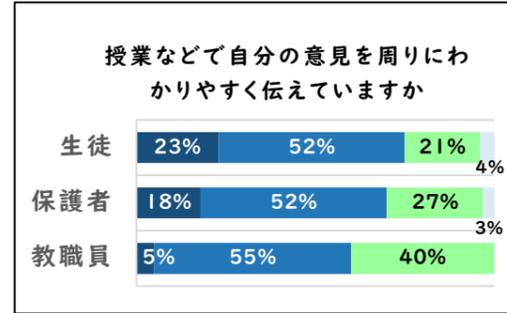
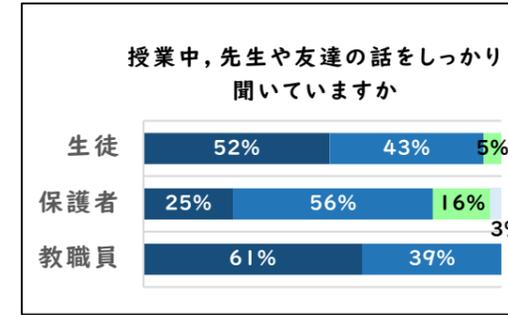
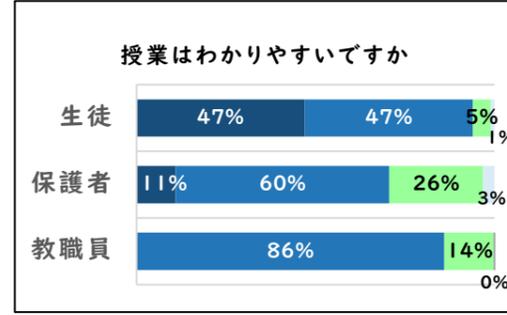
◎グラフについて ■ そう思う, ■ 大体そう思う, ■ あまりそう思わない, ■ そう思わない

### 学校全体について



「学校は楽しいですか」と「色々な学校の取組は自分の役に立っていますか」の項目では、生徒・保護者ともに9割近くが「そう思う」「大体そう思う」と回答しています。友達といっしょに、学校での様々な取組を経験することで、多くの生徒が学校生活を充実して過ごすことができているのではないかと考えます。しかし、少数ではありますが、「あまりそう思わない」「そう思わない」と感じている生徒もいます。生徒にとって楽しい学校になるかどうかは、授業や行事等への理解度や達成感、また、自己有用感の有無、友達や先生との人間関係など数多くの要因が関係していると思われます。そういった要因にしっかりと対応できるように、生徒の様子を見守っていきたく思います。また、7月より、生徒一人一人の課題に寄り添うため、校長も含めた保護者面談を始めています。些細なことでも結構ですので、各ご家庭で気づかれたことなどは学校にもご相談いただき、学校とご家庭で連携して生徒を見守っていただければと考えております。

### 確かな学力の育成について

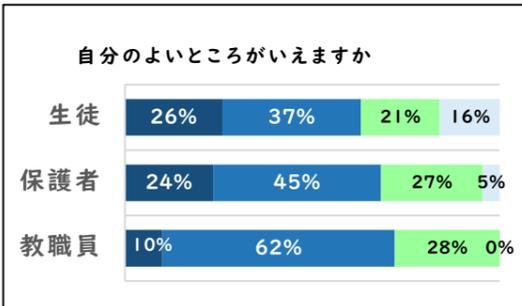
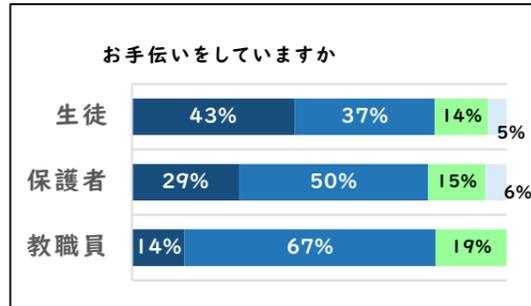
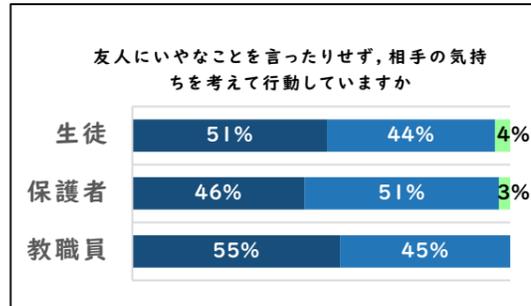
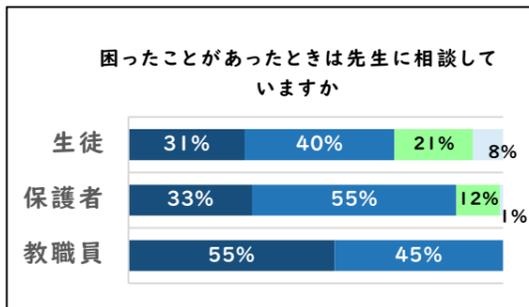
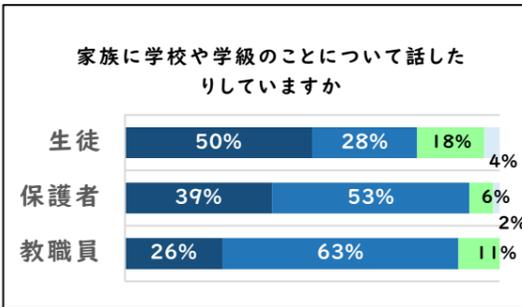
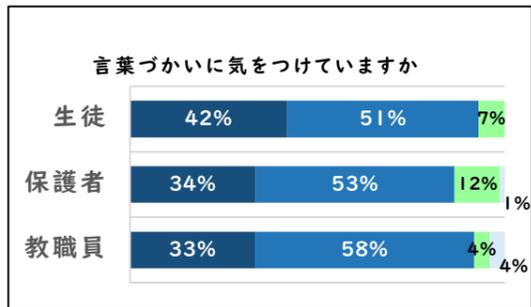
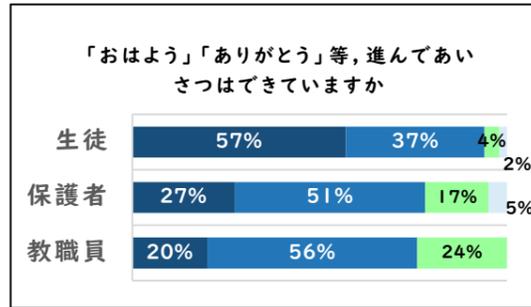


学校での学習に関しては、おおむね良い結果が見られます。しかし、「宿題や自主学習など、家庭学習がしっかりできていますか」と「Kノートをしっかり活用し、自分のスケジュール管理ができていますか」の2項目で、昨年度と同様に課題が見られます。学校で学習したことを確実に身につけていくためには復習し、繰り返して取り組むことが必要不可欠です。生徒自身が課題意識をもって、計画的に家庭学習を進めていけるような力を身につけてほしいと思います。学校では、生徒自身が「もっと知りたい」「深めたい」という意欲を育てるような授業づくりを進めていきたいと思っておりますので、ご家庭でも頑張る姿を見守っていただき、励ましの声かけをしていただけるとありがたいです。



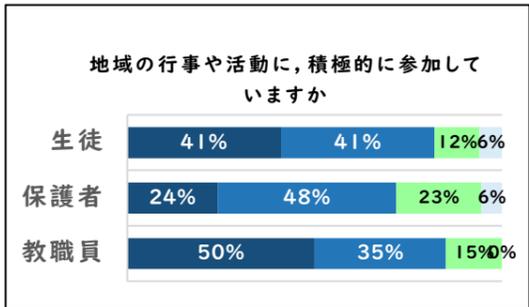
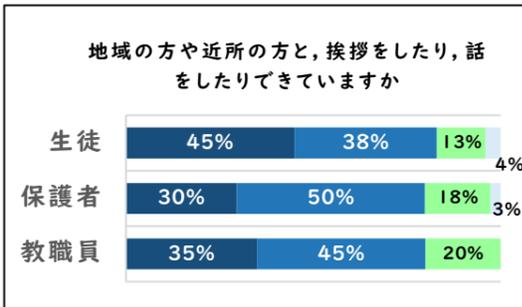
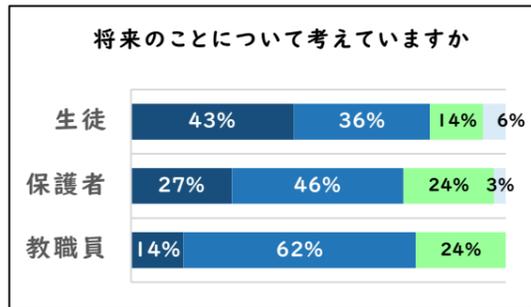
「授業はわかりやすいですか」と「授業中、先生や友達の話をしっかり聞いていますか」の2項目で、昨年度より約4%近く「そう思う」「大体そう思う」と答えている生徒が増えています。授業をしっかりと聴く基本姿勢が、「わかった」に繋がる第一歩だと考えます。しかし、「授業などで自分の意見を周りにわかりやすく伝えていきますか」の項目では、生徒・保護者・教職員ともに「あまりそう思わない」「そう思わない」という回答が多く感じます。このような課題を改善できるように、本校では言語能力の育成に重点を当てて取り組んでいます。生徒が積極的に自分の考えを表現し、発表ができるようになるには、まずは、授業内容をしっかりと理解させることが大切だと考えます。研鑽を積み、生徒が自分の考えを発表したくなるような授業づくりを更に目指していきたいと思っております。

## 豊かな心の育成について

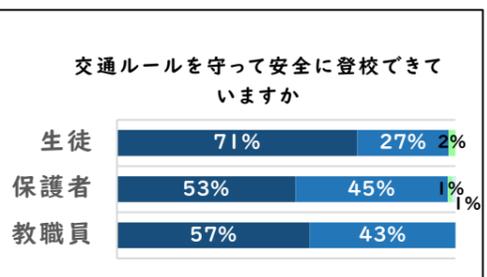
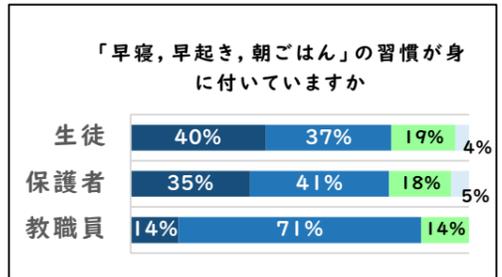
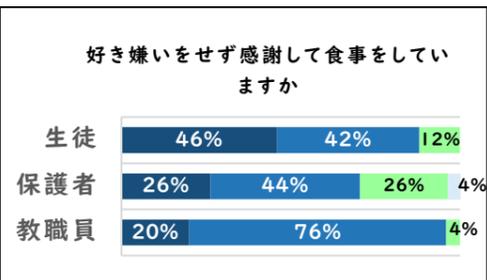
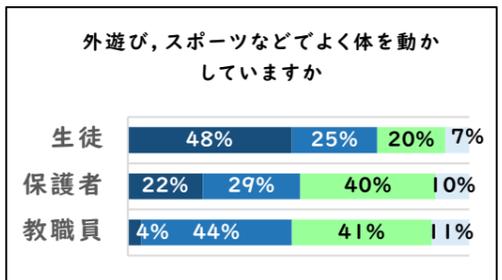


・「友人にいやなことを言ったりせず、相手の気持ちを考えて行動していますか」の項目では、生徒・保護者・教職員ともに9割以上が「そう思う」「大体そう思う」と回答しています。学校生活で多くの時間を友だちと過ごす中、互いが気持ちよく過ごさせているから、「学校は楽しいですか」の項目でも肯定的な回答の割合が多くなったと考えています。

・「自分のよいところがいえますか」の項目では、4割近くの生徒と保護者、3割近くの教職員が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答し、課題を感じています。この結果から、生徒自身が自分に自信を持つことができていないのではないかと考えられます。学校行事や学校生活を通して、得意なことを発揮する場面や努力したことを他者から認めてもらう機会を増やし、自己肯定感を高められるように取り組んでいきます。また、子どもの自己肯定感を高めるには、ご家庭や地域の方々等、多くの人々と関わるのが効果的だと思います。学校とご家庭、地域が協力し合って、子どもたちの心の成長を見守っていききたいと思います。



## 健やかな体の育成について



・昨年度に引き続き、コロナ禍の中で多くの活動を制限されています。その為、「外遊び、スポーツなどでよく体を動かしていますか」の項目では課題が感じられます。しかし、制限が少しずつ緩和されるとともに、休み時間や放課後にサブグラウンドで元気に体を動かす姿が見られるようになってきています。今後も、感染状況などを見ながらですが、意欲的に運動する機会を作っていきます。

・「早寝、早起き、朝ごはんの習慣が身に付いていますか」の項目では、3割近くの生徒が「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答していることが気になります。生徒にとって、基本的な生活習慣を身につけることは、心身の成長や健康にとっても大切なことです。生徒自身が自分の健康を考え、自ら行動できるようになってほしいと考えています。

## 学校運営協議会より

- ・すべての生徒が「学校は楽しい」と感じるために、学校と保護者と地域とが連携をとり、生徒が抱える様々な課題に寄り添っていききたい。
- ・豊かな心の育成の項目結果からも、京都京北小中学校の生徒自身の規範意識の高さや、生徒に携わってくださる地域全体の教育力について大変高いものを感じるため、引き続きこの結果を保てるように学校と保護者と地域とで見守っていききたい。



子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で「**京都はぐくみ憲章**」を実践しましょう!

